

医療機関の上手な受診にご協力ください

みなさまにご負担いただく保険料そして医療費を有効に活用するため、医療機関の上手な受診にご協力ください。不適正な受診は医療費のムダだけでなく、医療現場の疲弊・崩壊を引き起こす原因になっています。必要なときに安心して医療を受けるために、日頃からつぎのようなことにご留意ください。

こんなときは受診の仕方考えましょう



緊急ではないのに
診察時間外(深夜、休日など)
に診察を受けてしまう。

- 医療機関には決められた診療時間があり、
- 時間外の診療や夜間・休日の受診は
- 割増料金が請求され
- 自己負担もかさみます。

時間外の受診をする際には
平日の時間内に受診でき
ないか、もう一度考えて
みましょう。

夜間・休日にお子さんの急な病気で心配になったら、まず、**小児救急電話相談(#8000)**の利用を考えましょう。小児科の医師や看護師からお子さんの症状に応じた適切なアドバイスが受けられます。※小児救急電話相談が利用できる時間はお住まいの自治体によって異なります。

明日の昼間、
お医者さんに行こう…。



軽症なのに救急車を呼んだり
救急医療機関へ駆けこむ。

- 夜間・休日に開いている救急医療機関は、
- 一刻も早い救急処置が必要な患者さんを受け入れるためのものです。

軽症にもかかわらず
救急車を呼んだり救急外来を受診する
ことは控えましょう。

救急医療は
緊急の患者さんの
ものです!



ちょっとした風邪でも大病院へ
行ってしまう。

- 開業医の紹介状がないと、大病院では
- 料金が別に加算されることがあります。
- また大病院の外来は待ち時間も長く
- 患者さんにとっては体の負担になります。

身近に信頼できるかかり
つけ医をもちましょう。
かかりつけ医をもてば、
体質・病歴を把握して
くれることはもちろん
医師を渡り歩くハシゴ
受診や検査の繰り返し、
薬の重複などが避けら
れます。

かかりつけ医
にご相談くだ
さい。



むやみに薬をほしがったり
薬をもらいすぎてしまう。

- 薬は飲みあわせによっては、
- 副作用が生じる場合があります。
- またもらいすぎて飲みきれなければ
- 結局は薬代がムダになってしまいます。

別の病気で複数の医療機関にかかっている
場合は、処方されている薬について各担当
医や薬剤師に伝え、重複・もらいすぎを
避けましょう。

保険薬局では、効能・効果が同等で
薬代が安くなるジェネリック医薬品に
ついて、相談にのってもらえます。

